



「おだタク」の令和6年4月からの運行ルート

ルート	しまむら ストア	町屋 公民館	小学校前 バス停付近	前羽 福祉館	国府津駅
午前 便	A	9:30発 →	9:30 →	9:35 →	9:40着
	B	10:00着 ←	9:55 ←	9:50 ←	9:50発
	A		10:10発 →	10:10 →	10:15 →
	B	10:40着 ←	10:35 ←	10:30 ←	10:30発
午後 便	B	10:50発 →	10:55 →	10:55 →	11:00着
	A		11:10発 →	11:10 →	11:15 →
	A		14:10着 ←	14:05 ←	14:05 ←
	B	14:30着 ←	14:25 ←	14:20 ←	14:20発
午後 便	A		14:40発 →	14:40 →	14:45 →
	A		15:10着 ←	15:05 ←	15:05 ←
	B	15:20発 →	15:25 →	15:25 →	15:30着
	A		15:40発 →	15:40 →	15:45 →
A		16:10着 ←	16:05 ←	16:05 ←	16:00発

「おだタク」の令和6年4月からの時刻表

環境美化部会

◆今年度は喫緊の課題がないため休会としました。

環境美化部会名簿 1 志澤政勝・前羽地区自治会連合会長、向原自治会長／2 石塚金蔵・町屋自治会長／3 峯尾平治・押切自治会長／4 植田克巳・西自治会長／5 岩堀誠・中宿自治会長／6 石塚太・羽根尾自治会長／7 石塚和弘・前羽体育振興会会長／8 山口博・前羽青少年健全育成協議会会長／9 石塚洋平・中宿子ども会会長／10 岩澤茜・向原子ども会会長／11 大竹祐里・町屋子ども会会長／12 細田暁子・橘中学校PTA副会長／13 加藤まゆみ・前羽小学校校長／14 大曾根雅秀・地域住民(前・西自治会長)／15 北村千波・地域住民(前羽小学校スクールボランティアコーディネーター)／16 椎野純雄・地域住民(前・前羽体育振興会) 計 16名

前羽海岸クリーン作戦

令和5年7月開催参加者数 () 令和4年度実績

人数【人】	西	中宿	向原	町屋	押・羽	合計
大人	80 (50)	69 (68)	121 (126)	50 (40)	49 (37)	369 (380)
中学生	1 (5)	2(下中地区) (1)	7 (10)	3 (10)	3 (1)	16 (11)
小学生	6 (10)	9 (2)	15 (15)	1 (20)	3 (4)	34 (57)
幼児	2 (2)	1 (0)	5 (5)	2 (0)	0 (0)	10 (16)
先生	中	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	小	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	2 (13)
合計	89 (67)	84 (73)	148 (156)	56 (70)	55 (42)	432 (480)

ホームページの試行

・まちづくり委員会の活動を広く知っていただくとともに、参加している各種団体の情報を提供するツールとして1月からホームページの準備を進め、2月末から閲覧できるようになりました。

・前羽地区のタイムリーな情報発信や地域の活動を共有化してお互いに連携しながら、安全で住みやすい地域づくりを目指していきたいと思えます。

【お願い】前羽の歴史と文化も紹介したいと思えますので、昔の海岸や漁業、お祭り、街並みなどの写真や記事を募集しています。

・送付先 ishizuka.kinzou@outlook.jp



👉 「前羽地区まちづくり委員会」で検索

スマホでも見れます！

全体会

まちづくり委員会全員による会議の概要を紹介します。

第1回 海岸クリーン作戦/今後の部会活動/車坂花壇管理/広報活動(ニュース発行、ホームページ検討等)

第2回 上半期の事業・部会報告/会計報告/ホームページの試行/今後の予定

第3回 下半期の事業・部会報告/令和6年度役員/予算執行状況・来年度事業計画/団体活動報告



前羽地区まちづくり委員会だより No.2

発行日：令和6年3月25日／発行：前羽地区まちづくり委員会・広報委員

前羽地区まちづくり委員会だより

No. 002

令和5年度の活動を振り返って

前羽地区まちづくり委員会 委員長 志澤政勝

前羽地区まちづくり委員会は、各種団体と住民が連携し地域の課題を解決して、住みよいまちづくり実現のために活動をしています。今年度の活動は、毎年実施している車坂花壇の維持管理、海岸クリーン作戦(前羽青少年健全育成協議会と共催)と防災、高齢化対策の二つの部会を中心に行いました。

防災部会は「高齢者の避難」をテーマに、高齢者(75歳以上)・要支援者の災害時支援の要・不要アンケートを自治会単位で実施して現状を把握し、対象者に安否確認タオルを配付しました。また、「地震避難行動の手引き」を作成、全戸に配付しました。高齢化対策部会はバス減便を踏まえてテーマを「高齢者の移動支援問題」とし、市担当者との意見交換を進めて実証事業の「おだタク」「おだチケ」に結びつけました。

同時に、こうした活動を地域の皆さんに伝え、協力をいただくために本紙「前羽地区まちづくり委員会だより」を10月と3月に発行するとともに、タイムリーな情報の発信と共有化のため2月末にホームページを開設しました。

まちづくり委員会の活動は少しですが、形のあるものになってきました。しかしながら、海と山があり温暖で暮しやすかった前羽地区は、少子高齢化や移動交通手段の低質化などの進行で暮しにくさを感じるようになってきました。当委員会は行政(小田原市担当部署)の協力を得ながら、地域の視点でより安全で住みやすい前羽になるように活動していきたいと思えます。そのためには、例えば防災部会への防災リーダー、広報部門への若い人たちなど、幅広い方々の参加を求めています。引き続き、地域の皆さんのご協力とご意見をお願いいたします。

車坂花壇の管理

車坂花壇は、国道1号線の前羽駐在所近くの山側斜面の「史跡 車坂」にあります。花壇の管理作業は、まちづくり委員会メンバーとボランティアが毎月1回行っています。毎年5月と10月に花を植えています。

昨年の夏は猛暑が続きマリーゴールドとペコニアが早めの枯れたため8月に撤去しました。そして、10月28日にパンジーを植え付けました。12月～3月は雑草取りと水やりを行いました。



元気に咲いているパンジー(令和6年2月)



花の植え込み作業(令和5年10月)



パンジーなどが植えられた車坂花壇

部会活動

防災部会と高齢化対策部会は、前年度の活動を踏まえて年間テーマを設定して年4回開催し、その結果を2回の全体会で報告しました。ここでは、部会で話し合われた内容と実施されたことを紹介します。環境美化部会は休部としました。

防災部会

◆第1回(7月1日)では、テーマを昨年度からの継続項目の一つの「高齢者の避難」に決めました。具体的には前羽地区の特徴に合わせた避難方法、訓練の実施についてです。地震における前羽地区の特徴は、津波は約3分ですぐ来ること、国道より海側は津波災害警戒区域であり、水平避難か、垂直避難かを事前に考えておくことの必要性、そして、揺れたら逃げる(身の安全を確保した後)ことの習慣化することが重要という意見が複数ありました。津波がすぐ来る場合には垂直避難が必須であることを海岸近くの住民に周知することの必要性。小学校からは、登下校時の地震対応として地域の協力が必要。また、風水害、土砂災害の避難の仕方も必要との意見もありました。防災リーダーが機能していないのではないか、消防団の高齢化にともない地区として若い人の勧誘を進めてほしい、令和元年の台風19号の教訓として自治会長の役割がはっきりしていなかった等の発言がありました。なお、部会長は峯尾(押切自治会長)さん、書記は石塚(町屋自治会長)さんに決まりました。

◆第2回(8月20日)は、高齢者の津波時の避難について重点的に討議しました。災害時・高齢者マップ記載の全員を避難させるのは無理であり、現状を把握するために75歳以上・要支援者に災害(地震・津波、風水害)時支援の要・不要を確認するアンケートを行うことになりました。また、防災活動として、新玉地区まちづくり委員会作成の地震発生時の「避難行動の手引き」の紹介があり、当部会の討議をこうしたものにつなげたいとの提案がありました。ほかに、空き家等が防災上問題との発言がありました。

◆第3回(10月28日)は、高齢者・要支援者の災害時避難アンケートを中心に行われました。質問項目は向原案に準じたもの、対面式を基本に行うことになり、アンケート結果は次回提出になりました。また、1)広域避難所(前羽小学校)がバリアフリーになっていない、パーテーションの増加の必要 2)グループホームみさきへの要支援者受入については事前把握が必要 3)風水害警戒レベル3で高齢者等避難であることも知っておいてもらうことが重要との発言があった。

◆第4回(1月27日)はアンケート結果の報告。西自治会は対象者11名中9名が要支援、内4名が車椅子、中宿は14名中要支援3名、向原は27名中20名要支援、町屋は要支援数名、押切は要支援1名。対象者の高齢者等防災マップへの掲載情報は自治会長と民生委員に留めることことを確認しました。グループホームみさきの受入については3名とその介護者で、現在事前登録者は確認されていません。また、当部会の目指すものは前羽の現状の防災の仕組みを見直し整備することではないかとの意見がありました。前羽版の「地震避難行動の手引き」(案)が示され承認されました。災害別避難は6年度以降になりました。

作成した「地震避難行動の手引き」

防災部会名簿		
氏名	団体名	
1 志澤政勝	前羽地区自治会連合会長、向原自治会長	
2 石塚金蔵	町屋自治会長	
3 細川初恵	小田原市赤十字奉仕団前羽分団	
4 峯尾平治	押切自治会長	
5 植田克巳	西自治会長	
6 岩堀 誠	中宿自治会長	
7 石塚 太	羽根尾自治会長	
8 椎野千鶴子	前羽地区民生委員・児童委員協議会	
9 石塚八重子	前羽ボランティアグループ会長	
10 大曾根有三	小田原市消防団第22分団副団長	
11 加藤まゆみ	前羽小学校校長	
12 柳澤博美	包括支援センターたちばな管理者	
13 瀧澤 純	地域住民(前・前羽地区自治会連合会長)	
14 北村千波	地域住民(前羽小学校スクールボランティアコーディネーター)	
福田浩基	小田原市社会福祉協議会(オブザーバー)	



高齢化対策部会

◆第1回(7月1日)では、テーマを昨年度からバス減便対策とし「高齢者の移動手段問題」にしました。現状については、通院のタクシーの予約がなかなか取れないという声が多くありました。次に小田原市の移動手段の新たな取組(実証実験)の素案が紹介されました。一つは市がタクシー1台を借り上げてバス空白時間帯にA町屋公民館～国府津駅間、福祉館～国府津駅間、あるいはB自宅～国府津駅間で運行するもの。利用料金1台600円、要事前予約。これについて乗降場所は福祉館より困っている人が多い向原地区にすべき、などの意見がありました。

もう一つはタクシー助成券の配布で、75歳以上の運転免許自主返納者にタクシー初乗運賃分の助成券を月4枚配布するもの。これには高齢者の免許返納のためはおかしい、免許のない人もいるなどの意見がありました。今回は市の担当者にきてもらうことにしました。なお、部会長は志澤さん(向原自治会長)、書記は石塚さん(町屋自治会長)に決まりました。

◆第2回(8月22日)は、市まちづくり交通課担当者と市の移動手段についての2つの実証事業に関して意見交換を行いました。相乗りタクシー(おだタク)は、11月から3月までタクシーで町屋公民館～向原～国府津駅間を平日の午前と午後の各2時間運行し、事前予約で誰でも乗車でき、1台600円、最大4人相乗り(この場合1人150円)というもの。利用が多い場合は大型タクシーも検討のことでした。タクシー・バス助成券(おだチケ)は、11月から3月まで運転免許を持たない75歳以上に助成券12,000円(申請必要)を配布。実証事業については回覧、住民説明会、検証を行う予定。

◆第3回(9月26日)は、おだタク、おだチケの回覧(案)を基に市担当者と意見交換を行いました。新たな点は、おだタクで向原の乗降場所は小学校付近、運航時刻は午前9時30分から30分おきに11時30分までと午後2時から30分おきに4時までで、タクシー会社は毎週変わる点などです。おだチケではタクシーは市内で乗降することが必要、助成券不足分は現金や電子マネーで支払可など。回覧でなく全戸配付の要望がありました。住民説明会はなし、検証はアンケート。

◆第4回(1月26日)は、市担当者によるおだタク、おだチケの実証報告及び意見交換をしました。前羽地区だけで実施されたおだタクでしたが、11、12月40日間の利用者は56人、1日平均1.4人、稼働率は稼働便数720便の内40便利用、5.6%という大変低い利用状況でした。利用は通院・買物、70・80代がともに7割。おだチケの申請率は約49%、金額の利用率は約25%、1人当たりの利用回数は約3回でした。アンケートを踏まえた6年度のおだタク(案)では、予約不要、平日週2日運行、前羽福祉館～しまむらストア間新設となりました。西地区にも乗降場所を設置できないかとの意見がありました。おだチケも継続されます。

運行日	令和6年4月2日(火)～令和6年10月29日(火)のうち 火曜日・金曜日のみ運行(祝日・休日の場合は運休)			
利用できる方	どなたでもご利用いただけます。 ※1名～4名(最大)で運行します。 ※予約はできません。 ※友人や親しい近隣の方との相乗りを推奨します。 ※先着順です。			
運行ルート	(ルートA) 町屋公民館～国府津駅 (ルートB) しまむらストア～前羽福祉館 ※詳細な運行ルート、乗降スポットの案内は【裏面】をご覧ください。			
運賃	(ルートA) 600円 (ルートB) 600円	乗車人数	1名	2名
		運賃	600円	各300円各200円各150円

高齢化対策部会名簿		
氏名	団体名	
1 志澤政勝	前羽地区自治会連合会長、向原自治会長	
2 石塚美彦	前羽社会福祉協議会会長	
3 石塚金蔵	町屋自治会長	
4 杉山栄一	前羽長楽会会長	
5 峯尾平治	押切自治会長	
6 植田克巳	西自治会長	
7 岩堀 誠	中宿自治会長	
8 石塚 太	羽根尾自治会長	
9 椎野千鶴子	前羽地区民生委員・児童委員協議会	
10 柳澤博美	包括支援センターたちばな管理者	
11 鈴木英子	地域住民(前・前羽社会福祉協議会会長)	
12 北村千波	地域住民(前羽小学校スクールボランティアコーディネーター)	
福田浩基	小田原市社会福祉協議会(オブザーバー)	